

終戦80年

戦跡記念碑をたどる-3



コーズウェイ

WITHDRAWAL TO SINGAPORE

2025年12月10日

史蹟史料部

戦跡記念碑 No.3 コーズウェイ WITHDRAWAL TO SINGAPORE

設置場所 : Woodlands Waterfront, Main Entrance

第3回目は、シンガポールマレー本土をつなぐコースウェイの戦跡記念碑をご紹介します。

1924年に完成したコースウェイは、シンガポールとマレー本土（現在のマレーシア）を結ぶ道路と鉄道の結節点となりました。第二次世界大戦中、マレー本土を日本軍に奪われた最後の連合軍部隊は、1942年1月31日にジョホール海峡を渡り、コースウェイを経由してシンガポールへ撤退しました。連合軍の工兵部隊は、日本軍のシンガポールへの進撃を遅らせるため、コースウェイの爆破を開始しました。しかし日本軍は損傷を修復し、1942年2月9日にコースウェイを渡ってシンガポールに入りました。



シンガポールとマレー本土をつなぐコースウェイ（出典：ナショナルヘリテージボード）

シンガポールからは、対岸マレーシア本土ジョホールバルがよく見えます。戦時中の写真で唯一見える高い塔の建物は、戦時中は日本軍の司令塔として使われていました。一番上の見張りの塔からはシンガポールを見渡すことができたと言われています。



シンガポール側から見た日本軍の司令塔（出典：ナショナルヘリテージボード）

現在もジョホール州政府庁舎として使われています。ウッドランズの国境から徒歩 10 分ほどの場所にありますので、ジョホールバルを訪れる際に外観を見ることができます。国境を渡る橋からもよく見えます。



現在のジョホール州政府庁舎

戦跡記念碑はジョホールバルを臨むウッドランズウォーターフロントパークに設置されています。MRT トムソンイーストコースト線ウッドランズノース駅から歩いて行くことができます。



コースウェイの戦跡記念碑

ウッドランズトレインチェックポイントに近いほうのエントランスのところにあります。



ウッドランズウォーターフロントパークの入口